玄海中学校

図書だより　No. 5

令和４年９月　　玄海小中学校図書館　（文責　藤﨑）

日中はまだ日差しが強いですが、朝晩は涼しくなりましたね。じっくり本を読むにはとても良い季節です。新しい本も入っています。文化委員会の取り組みで、今月は最大5冊まで本を借りることができます。ぜひ図書館へ本を借りに来てくださいね。

本の場所が変わっています

夏休みの間に、本の位置を変えています。本は0から番号順、それぞれの番号の中ではカタカナの50音順で並んでいます。

★古典、サバイバルシリーズ、辞典、禁帯出本、パンフレット等は位置が大きく変わっていますので地図を見て確認してください。

★玄海小中学校の図書館は小学生と中学生が一緒に使用するため、本は小学生に合わせて並べています。数字は二けた目までを見て返してください。

例）481マ　487マ　→同じ場所に並ぶ

★この図書だよりの裏に図書館の新しい地図をのせています。本のラベルをよく見て正しい場所に返しましょう。

★ひみつシリーズ、怖い本(リスト作成中)はそれぞれの分類のたなに置いています。場所が分からない場合は先生か、文化委員、図書委員に聞いてください。

本を返すポストができました！

図書館が閉まっている時に、本を返すことができるポストができました。閉館時に図書館の入口に置きます。本をそっと中に入れてください。

このポストは、美術部のみなさんが時間をかけて作ってくれたものです。ていねいにあつかってください。図書館が開いている時には、今まで通りカウンターに返しましょう。

本の返却を忘れていませんか？

夏休み前に借りた本は返しましたか？まだ返していない本は**大至急**図書館まで持って来て下さい。次に読みたい人が待っています。

９月２０日～３０日は動物愛護週間になっています。家でペットを飼っている人もいますね。動物が出てくる本はたくさんあります。ぜひ読んでみましょう。

『飼い猫のひみつ』(64イ)

野生のヤマネコが人と共に暮らす家ネコになるまでには長い年月がかかりました。ネコが人と暮らすようになった本当の理由とは何でしょうか。

『子犬工場』(64オ)

ペットショップで売られている子犬たちはどこで生まれ、どのようにしてお店に来たのでしょうか？動物にとっての幸せとは何か考えてみませんか？

『犬部！』(645カ)

「保護した動物は絶対に幸せにする！」そんな熱い思いで動物たちのために活動する大学の獣医学部の学生たちのお話です。今現在も活動を続けています。

おうちの方のおすすめ本

―家読で紹介してくださった本です。読んでみてください。―

『だいじょうぶだいじょうぶ』いとうひろし　作・絵　(Eタ)

大人の言葉や対応が、子供の成長にどれだけ影響を与えるのかがよくわかる絵本。「だいじょうぶ　だいじょうぶ」という言葉が心配やこわいことから励まされて、自信や勇気に変わっていく。おじいちゃんの「おまじないの言葉」は“だいじょうぶだいじょうぶ”（ペンネーム　ダンボのみみさん）

『夢をかなえるゾウ』水野敬也　著　(91.3 ミ)

主な登場人物は、どこにでもいるような冴えないサラリーマンと口の悪い(関西弁で)ゾウの姿をした神様「ガネーシャ」。そのガネーシャが自分を変え成功するための方法、行動を教えてくれます。でもどの教えも「んっ?!それってなんの意味あるの?!」みたいな地味なものや「んっ?!なんかそれ親から言われたことあるような…。」みたいなものも。笑いあり涙あり、その上タメになる本です。(ペンネーム　さば缶さん)